

明中瓦版

令和7年10月号 校長 堤 周作

小中一貫校 彩和学園
富田林市立明治池中学校



「縁の下の力持ち」

学校は体育大会や MF の練習・準備一色。生徒の体育大会への期待と不安は、保護者さんや私の時代と同じだと思いますが、圧倒的に違うのが“暑さ”です。昨年から市内中学で実施日を約一週間遅らせましたが、9月初中旬の練習は異常な暑さの中。この暑さで運営や練習に支障をきたしたら、今後どうしたらいいのだろうと心配します。日程を更に遅らせると中間テストに近づき、テスト後では3年生の進路選択や受験勉強に悪影響が出ます。「地球温暖化、いい加減に止まって!」と切に願います。

さて、私は常々「仲間のために人一倍頑張っている人(リーダー)は勿論ですが、『縁の下の力持ち』の人たちの着実な努力もしっかりと見て、感謝を伝えたい」と思っています。教員は、悩む生徒や道を外しそうな生徒に、時間をかけて何とか頑張らせようとするのが性(さが)です。が、目立たぬとも地道に学校生活を送っている生徒たち、例えば、黙々と掃除をする子、係活動をもれなくこなす子、きちんと時間を守っている子、困っている子に声をかけている子、リーダー(委員やキャプテン、班長等)をサポートしている子…。実はこんな生徒たちが周りに潤いを与え、学級・学年・学校・部活の温かい雰囲気を作りだしています。そんな人に敬意を持ちます。

「縁の下の力持ち」は教職員にもたくさんいます。例えば校務員の〇〇さん。日々の学校施設の管理は勿論ですが、職員玄関や2階の多目的室前に、旬なお花を生けてくれています(ノ)。この夏には、生徒が自販機を利用しやすいよう、前に素敵な“すのこ”を作ってくださいました(→)。



スクールサポートスタッフの〇〇先生は、毎日さくら連絡網に入った欠席遅刻等の連絡をまとめ各学年に伝えてくださっています。他にも、学校 HP の作成や掲示物の補修、印刷物のサポート、数学授業の補助、校内外で汚れている箇所の清掃等をしてくださっています。介助員の〇先生と〇〇先生は、ひまわり学級やスマイル教室を軸に、通常の授業や体育等に入り、悩んでいる生徒や困っている生徒にそっとサポートをしてくださっています。美術の〇〇先生は毎朝車用の門の前で、挨拶しながら登校生徒の交通安全に尽力してくださっています。〇〇先生は雨にも風にも猛暑にも負けず、誰もが眠い朝、ハイタッチで彩和学園を盛り上げてくださっています。司書の〇〇先生は図書委員とともに、みんなが本に親しめるよう、図書室内外で本の紹介等、様々な工夫をしてくださっています(→)。



保護者の皆様、リーダーや「縁の下の力持ち」、運動が苦手な不安な人など、色々な生徒や教職員の思いがたくさんつまった、一生懸命な体育大会に、ご支援ご声援をよろしくお願い致します。

右の体育大会の横断幕は、夏休みに文化部の人たちが、長〜い時間をかけてデザインを企画し作成してくれました!

